

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年4月12日
【四半期会計期間】	第28期第2四半期（自平成24年12月1日至平成25年2月28日）
【会社名】	株式会社クロタニコーポレーション
【英訳名】	Kurotani Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒谷 純久
【本店の所在の場所】	富山県射水市奈呉の江12番地の2
【電話番号】	0766(84)0001(代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 井上 亮一
【最寄りの連絡場所】	富山県射水市奈呉の江12番地の2
【電話番号】	0766(84)0001(代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 井上 亮一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第27期 第2四半期 累計期間	第28期 第2四半期 累計期間	第27期
会計期間	自平成23年 9月1日 至平成24年 2月29日	自平成24年 9月1日 至平成25年 2月28日	自平成23年 9月1日 至平成24年 8月31日
売上高(千円)	22,404,790	24,815,895	48,605,959
経常利益又は経常損失() (千円)	192,787	897,111	59,641
四半期純利益又は四半期(当期)純損失() (千円)	151,644	494,937	37,406
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-
資本金(千円)	593,373	1,000,000	593,373
発行済株式総数(株)	7,168,600	7,168,600	7,168,600
純資産額(千円)	6,942,244	7,378,176	6,900,503
総資産額(千円)	14,455,767	15,253,096	13,653,568
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期(当期)純損失金額()(円)	21.15	69.04	5.22
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	15.00	10.00	30.00
自己資本比率(%)	48.0	48.4	50.5
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	1,527,957	82,330	2,377,119
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	239,087	264,968	285,833
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	1,110,544	75,502	1,911,771
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	1,573,068	1,467,216	1,562,701

回次	第27期 第2四半期 会計期間	第28期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成23年 12月1日 至平成24年 2月29日	自平成24年 12月1日 至平成25年 2月28日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	21.40	48.88

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、重要な関係会社がないため、記載しておりません。
4. 第28期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、第27期及び第27期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間における世界経済は、欧州情勢が落ち着きを取り戻し始めたことや米国における量的金融緩和第三弾（QE3）の実施で、世界経済に対する不安感が改善いたしました。

また、我が国においても新政権の経済政策による成長期待から大幅な円安・株高となり、復興支援策の早期実施期待等も強まったことから先行き明るさが見えてきました。

当社の主力取扱商品である銅を中心とした非鉄金属価格も、このような世界経済・国内経済の状況から高値安定の動きとなり、加えて為替相場が円安となったことで円ベースでは、さらに価格上昇が顕著となりました。

当第2四半期累計期間における当社を取り巻く環境は、このような世界経済・国内経済の動向から、非鉄金属需要の底堅い動きと市況環境の大幅な改善により、当社業績は売上高248億15百万円（前年同四半期比10.8%増）、営業利益10億24百万円（前年同四半期は営業損失1億54百万円）、経常利益8億97百万円（前年同四半期は経常損失1億92百万円）、四半期純利益4億94百万円（前年同四半期は四半期純損失1億51百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末と比較して95百万円減少し、14億67百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は82百万円（前年同四半期は15億27百万円の収入）となりました。これは主に税引前四半期純利益8億97百万円、仕入債務の増加による収入4億15百万円、たな卸資産の増加による支出12億12百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は2億64百万円（前年同四半期は2億39百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億15百万円、関係会社株式の取得による支出1億41百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動の結果得られた資金は75百万円（前年同四半期は11億10百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の借入れ2億5百万円による収入、配当金の支払い1億7百万円の支出によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期累計期間における研究開発活動の金額はありません。

なお、当第2四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成25年4月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,168,600	7,168,600	東京証券取引所 市場第二部	1単元の株式数は100株であります。普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない、当社における標準となる株式であります。
計	7,168,600	7,168,600	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年12月1日～ 平成25年2月28日	-	7,168,600	-	1,000,000	-	293,024

(6)【大株主の状況】

平成25年2月28日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
黒谷 純久	富山県射水市	2,858,000	39.87
有限会社KHプレミアム	富山県富山市五艘1523-1	1,792,200	25.00
株式会社エム・ケイ・コーポレーション	兵庫県三木市福井2283-7	200,000	2.79
黒谷 暁	富山県射水市	100,000	1.39
黒谷 昌輝	富山県富山市	100,000	1.39
株式会社北陸銀行	富山県富山市堤町通り1丁目2-26	70,000	0.98
株式会社北國銀行	石川県金沢市下堤町1	70,000	0.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会 社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	69,300	0.97
黒谷 春美	富山県富山市	60,000	0.84
クロタニコーポレーション従業員持株会	富山県射水市奈呉の江12-2	57,600	0.80
計	-	5,377,100	75.01

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,168,000	71,680	権利内容に何ら限定のない、当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	普通株式 600	-	-
発行済株式総数	7,168,600	-	-
総株主の議決権	-	71,680	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式77株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）及び第2四半期累計期間（平成24年9月1日から平成25年2月28日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

資産基準	1.1%
売上高基準	0.0%
利益基準	0.3%
利益剰余金基準	0.1%

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,263,825	2,162,386
受取手形及び売掛金	5,615,851	5,691,739
商品及び製品	357,586	899,895
仕掛品	92,357	89,808
原材料及び貯蔵品	1,040,519	1,713,261
その他	1,244,720	1,443,179
流動資産合計	10,614,861	12,000,271
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,521,121	1,521,121
その他(純額)	822,001	804,426
有形固定資産合計	2,343,122	2,325,547
無形固定資産	44,290	36,097
投資その他の資産	651,293	891,179
固定資産合計	3,038,706	3,252,824
資産合計	13,653,568	15,253,096

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,325,904	1,741,192
短期借入金	2,735,800	3,062,550
1年内償還予定の社債	45,000	-
1年内返済予定の長期借入金	726,740	785,941
未払法人税等	7,040	421,155
引当金	13,238	48,601
その他	312,556	263,928
流動負債合計	5,166,280	6,323,368
固定負債		
長期借入金	1,518,767	1,482,174
引当金	68,017	69,378
固定負債合計	1,586,784	1,551,552
負債合計	6,753,065	7,874,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,373	1,000,000
資本剰余金	1,092,482	685,855
利益剰余金	5,262,283	5,649,692
自己株式	-	36
株主資本合計	6,948,138	7,335,510
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	47,635	42,665
評価・換算差額等合計	47,635	42,665
純資産合計	6,900,503	7,378,176
負債純資産合計	13,653,568	15,253,096

(2) 【四半期損益計算書】
【第 2 四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 2 月29日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 2 月28日)
売上高	22,404,790	24,815,895
売上原価	21,982,922	23,149,003
売上総利益	421,868	1,666,891
販売費及び一般管理費	575,975	642,152
営業利益又は営業損失 ()	154,107	1,024,738
営業外収益		
受取利息	182	168
受取配当金	1,679	2,027
為替差益	4,578	5,393
助成金収入	4,644	2,850
その他	3,001	2,886
営業外収益合計	14,086	13,326
営業外費用		
支払利息	36,953	34,085
デリバティブ運用損	14,795	105,626
その他	1,017	1,242
営業外費用合計	52,766	140,953
経常利益又は経常損失 ()	192,787	897,111
特別利益		
固定資産売却益	44	699
特別利益合計	44	699
特別損失		
固定資産売却損	-	390
固定資産除却損	212	-
投資有価証券評価損	38,858	-
特別損失合計	39,071	390
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	231,813	897,420
法人税、住民税及び事業税	2,254	408,758
法人税等調整額	82,423	6,276
法人税等合計	80,169	402,482
四半期純利益又は四半期純損失 ()	151,644	494,937

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	231,813	897,420
減価償却費	108,476	93,265
引当金の増減額(は減少)	1,552	36,722
受取利息及び受取配当金	1,862	2,195
支払利息	36,953	34,085
為替差損益(は益)	31,811	109,973
投資有価証券評価損益(は益)	38,858	-
売上債権の増減額(は増加)	548,701	75,888
たな卸資産の増減額(は増加)	1,023,895	1,212,501
仕入債務の増減額(は減少)	139,677	415,287
未収消費税等の増減額(は増加)	380,026	172,305
その他	245,479	352,874
小計	2,318,651	115,600
利息及び配当金の受取額	1,822	2,177
利息の支払額	34,057	33,165
法人税等の支払額	758,459	2,282
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,527,957	82,330
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	442,966	424,176
定期預金の払戻による収入	430,899	430,130
関係会社株式の取得による支出	-	141,102
有形固定資産の取得による支出	217,270	115,581
無形固定資産の取得による支出	3,012	8,252
投資有価証券の取得による支出	4,078	4,168
その他	2,660	1,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	239,087	264,968
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	972,690	205,125
長期借入れによる収入	500,000	500,000
長期借入金の返済による支出	460,492	477,392
社債の償還による支出	35,000	45,000
自己株式の取得による支出	-	36
配当金の支払額	142,362	107,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,110,544	75,502
現金及び現金同等物に係る換算差額	31,811	11,651
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	146,512	95,485
現金及び現金同等物の期首残高	1,426,555	1,562,701
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,573,068	1,467,216

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期会計期間より、平成24年 9 月 1 日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第 2 四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 2 月29日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 2 月28日)
販売諸掛	234,684千円	266,767千円
従業員給与及び賞与	81,417	91,958

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 2 月29日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 2 月28日)
現金及び預金勘定	2,293,953千円	2,162,386千円
預入期間が 3 か月を超える定期預金	720,885	695,170
現金及び現金同等物	1,573,068	1,467,216

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月29日 定時株主総会	普通株式	143,372	20	平成23年8月31日	平成23年11月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月6日 取締役会	普通株式	107,529	15	平成24年2月29日	平成24年5月2日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自平成24年9月1日至平成25年2月28日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月29日 定時株主総会	普通株式	107,529	15	平成24年8月31日	平成24年11月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月5日 取締役会	普通株式	71,685	10	平成25年2月28日	平成25年5月2日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

平成24年11月29日開催の定時株主総会において「その他資本剰余金の額の減少及び資本金の額の増加の件」が承認可決されたことにより、その他資本剰余金が406,627千円減少し、その同額を資本金に振り替えております。

(デリバティブ取引関係)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

商品関連

前事業年度(平成24年8月31日)

区分	取引の種類	契約額等 (千円)	契約額等のうち 1年超 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)
市場取引以外の取引	(先渡取引)				
	売建	587,775	-	1,488	1,488
	買建	469,698	-	253	253
合計		1,057,474	-	1,742	1,742

(注) 時価の算定方法

時価の算定は、商社及びLME(ロンドン金属取引所)取引のブローカーから提出された価格によっております。

当第2四半期会計期間(平成25年2月28日)

区分	取引の種類	契約額等 (千円)	契約額等のうち 1年超 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)
市場取引以外の取引	(先渡取引)				
	売建	1,370,775	-	2,742	2,742
	買建	847,350	-	25,916	25,916
合計		2,218,125	-	23,173	23,173

(注) 時価の算定方法

時価の算定は、商社及びLME(ロンドン金属取引所)取引のブローカーから提出された価格によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はインゴットの製造・販売及びスクラップの加工・販売を行う非鉄金属事業の他に美術工芸品の製造販売を行っておりますが、非鉄金属事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	21円15銭	69円4銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	151,644	494,937
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	151,644	494,937
普通株式の期中平均株式数(株)	7,168,600	7,168,563

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、当第2四半期累計期間は潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前第2四半期累計期間は1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第28期(平成24年9月1日から平成25年8月31日まで)中間配当について

平成25年4月5日開催の取締役会において、平成25年2月28日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 71,685千円

1株当たりの金額 10円

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年5月2日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年4月10日

株式会社クロタニコーポレーション
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 博久 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高村 藤貴 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社クロタニコーポレーションの平成24年9月1日から平成25年8月31日までの第28期事業年度の第2四半期会計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）及び第2四半期累計期間（平成24年9月1日から平成25年2月28日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社クロタニコーポレーションの平成25年2月28日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。